

●今号の主な内容

- 2面 … 全中学校に中学校特別支援教室『プラス』を順次導入します／若葉台小学校の校章が決定しました
- 3面 … 平成30年度教育委員会表彰／新委員の任命
- 4面 … 立川教育フォーラム開催／図書館音楽配信サービスの開始

編集・発行／立川市教育委員会
 〒190-8666 立川市泉町1156-9
 ☎042(523)2111(市役所代表)
 立川市ホームページ
<http://www.city.tachikawa.lg.jp/>



たっちの発行は年3回です。次号の発行は平成31年(2019年)6月10日です。

たっち

立川市教育だより

「科学」っておもしろい!!

立川の小学生、宇宙エレベーター
 ロボット競技会で
 \\「全国3位」!!\\



宇宙エレベーターロボット競技会 会場

科学教育センター小学生チームが快挙!

立川市科学教育センターから、小・中学生9チームが予選に出場し、2チームが全国大会への切符を手に入れました。平成30年11月11日に行われた全国大会では、第八小学校の5年生チーム「立川 Eight」が小学生部門第3位となる快挙を収めました!

宇宙エレベーターロボット競技会とは?

地球と宇宙をつなぐ夢の輸送システム「宇宙エレベーター」。これをブロックでできたプログラミング教材で再現し、天井からつるした『ステーション』までピンポン玉を運ぶ時間を競います。今年も、地区予選を勝ち抜いた全国の小・中・高校生が熱戦を繰り広げました。受賞した子どもたちは、「将来、宇宙エレベーターを作る仕事に就きたい!」と将来の夢を話していました。

\\ 理科って楽しい!! \\

科学教育センターの主な取組

科学教育センターとは?

昭和39年に設立し、正式名称は、立川市立小学校科学教育センター。会場は第八小学校の理科室を中心に活動しています。

市内19校の5、6年生を対象に、科学の学習を通して子どもたちの探究心を伸ばし、理科好きな子どもを増やして学力向上を図ることを目的としています。具体的には、実験観察講座、校外学習などを開くとともに、宇宙エレベーターロボット競技会にも参加しています。今年度は、過去最高199人の子どもたちが参加し、体験を通して科学を楽しく学びました。



静電気の不思議



いかの解剖



電子オルゴール作り



火起こし体験

ほかにも、
 こんなことを
 やっています!

- レンズの仕組み～望遠鏡作り～
- 中学校の先生による実験観察～天体の学習～
- 磁界と電流～超伝導とドライアイスの実験～
- 植物の不思議～でんぷんの実験～
- プラネタリウム見学～in府中郷土の森～
- 感覚の科学～錯覚の体験～

図指導課・内線2499

平成30年度 第2次特別支援教育実施計画の取組について

立川市は平成29年3月に、第2次特別支援教育実施計画を策定しました。今年度、新規または充実した主な取組の内容および状況は次のとおりです。今後も、計画を踏まえ、特別支援教育の充実に取組んでいきます。

☎教育支援課 ☎(527)6171

内容	取組状況
就学相談の充実	就学に係る相談対応力の向上を図るため、29年度に就学相談を利用(30年4月に就学)した方を対象に、ご利用後の満足度等に関するアンケートを実施しました。集計結果やいただいたご意見を踏まえ、情報提供の在り方や相談の進め方についての改善を検討します。
中学校特別支援教室の導入準備	平成31年4月に一部の中学校に導入する特別支援教室「プラス」について、課題の把握や解決に向けた検討を行いました。教室設備や教育課程など開設に向けた準備を進めるとともに、教職員や保護者、生徒への理解啓発に取組みました。
幼保・小の円滑な引き継ぎ	同時期に策定した発達支援計画と整合を図りながら、子育て・保健・福祉等の関係部署からなる庁内組織において、情報連携のツールとなる「サポートファイル(仮称)」の導入に向けた検討を進めました。平成31年度中に配布し運用を開始します。
学校生活支援シート、個別指導計画の作成の推進	各計画に基づいた指導の充実や指導に対する評価の在り方等について、小・中学校に向け、指導・助言を行いました。来年度から中学校にも特別支援教室「プラス」が導入されます。今後も、保護者の理解を得つつ、計画的な指導の充実に向け学校とともに取組んでいきます。
校内委員会の充実	市内小・中学校の校内委員会を教育委員会が巡回し、児童・生徒や保護者への支援について学校と共に検討し必要な助言を行いました。また、学校生活支援シートや個別指導計画を活用した校内委員会の運営について特別支援教育コーディネーター等への助言を行いました。
教員の専門性の向上	東京都の「特別支援学級の専門性向上事業」を活用し、今年度新たに開級した知的障害特別支援学級を中心に、月2回程度、特別支援学校教員が巡回指導を行いました。具体的な指導・助言により、児童・生徒の実態把握から授業の組み立てなど、担任の指導力が向上しました。また、特別支援学校の校内見学や教材の活用研修、高等部での清掃技能検定の見学など、特別支援教育を幅広く取り上げる研修会等を実施しました。

2021年度までに 全中学校に 中学校特別支援教室『プラス』を順次導入します

立川市は、市立中学校9校中3校に情緒障害等通級指導学級を設置していますが、発達障害のある生徒がより早期に適切な指導・支援を受けられるよう、小学校に続いて中学校においても平成31年度から、巡回指導教員が在籍校に出向いて指導を行う特別支援教室に順次移行します。東京都のガイドラインに沿い、平成33年(2021年)4月までに全中学校に設置する予定です。

教室の愛称は「プラス」。学校生活にプラスアルファを提供できる場として、生徒を応援するプラスの役割として、一人ひとりの可能性がもっと広がるようにとの願いを込めました。

初年度となる平成31年度は、泉学級が設置されている立川第六中学校を拠点に、立川第九中学校へ教員が出向いて巡回指導を行います。「プラス」の導入後は、通常の学級の授業により多く参加できるようになるほか、巡回指導教員と在籍学級担任との連携が取りやすくなることで、通常の学級における特別支援教育に関するノウハウや発達障害に対する理解が進むことが期待されます。

生徒自身が安心して校内の「プラス」を利用し、学習上や生活上の困難さを軽減していけるよう、この機会に支援を必要とする生徒や保護者を身近に考えていただき、あたたかい見守りとご配慮をお願いいたします。

●平成31年(2019年)4月に導入する巡回グループ

拠点校	巡回校
立川六中	立川九中



●平成32年度(2020年度)以降の導入計画

平成32年度(2020年度)	立川三中、立川四中、立川五中、立川七中、立川八中
平成33年度(2021年度)	立川一中、立川二中

※特別支援教室が在籍校に導入されるまでの間は、引き続き学区の通級指導学級または拠点校の特別支援教室で指導を受けます。

なお、計画は31年2月現在のものであり、今後、変更になる場合があります。

☎教育支援課 ☎(527)6171

第10回 中学生「東京駅伝」大会が行われました!

平成31年2月3日(日)に、東京都教育委員会の主催により、味の素スタジアム内アミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園特設周回コースにおいて、都内50の市・区・町が参加して第10回中学生「東京駅伝」大会が行われました。今年度は、株式会社立飛ホールディン

グスから立川市選手団にユニフォーム、ウインドブレーカー、シューズ等の支援をいただき、結団式、5回の練習会を経て、本番に臨みました。市内9校の公立中学校と立川国際中等教育学校から選ばれた男女各21人の代表選手が、チーム一丸となってタスキをつなぎました。



☎指導課・内線2497

立川市立若葉台小学校の校章が決定しました

平成30年4月に開校した若葉台小学校の校章が決定しました。

平成30年4月から5月にかけて校章デザインの公募を行い、393作品におよぶ応募をいただきました。全応募作品について、新学校設立検討委員会および立川市教育委員会定例会において協議を重ね、立川第九中学校在学の杉浦 璃々子さんの作品が選ばれました。

このデザインには、二つの小学校の統合が表現されており、「若葉に包まれてのびのびと育てほしい」という児童への思いが込められています。

☎学務課・内線2515



平成30年度 立川市教育委員会表彰

立川市教育委員会では、有益な調査・研究、特に模範となる行為、教育・文化の振興における功績、体育その他の文化活動において特に優秀な成績をあげた個人または団体を、規程に基づき表彰しています。今年度は平成30年11月3日文化の日に市役所本庁舎にて表彰を行いました。

☎教育総務課・内線2465



平成30年度立川市教育委員会表彰 表彰者一覧

学校名等	該当者	該当内容
第六小学校教諭	溝越 勇太	業務上の成績が特に優秀
上砂川小学校教諭	山崎 光弘	業務上の成績が特に優秀
立川第四中学校	島村 涼太	第45回全日本中学校陸上競技選手権大会 棒高跳 出場
立川第五中学校	高野倉 真央	第26回全国中学生空手道選手権大会 女子個人組手 第5位
立川第六中学校	小林 龍生	第58回全国中学校水泳競技大会 男子100m自由形 第6位
立川第七中学校	脇川 颯太	第42回関東中学校水泳競技大会 男子100m背泳ぎ 第5位
立川第七中学校	高原 一希	第46回関東中学校陸上競技大会 男子1年 走幅跳 第1位
立川第八中学校	赤羽 優悟 田村 翔 夜久 修斗 上田 大生	第26回全国中学生空手道選手権大会 男子団体形 第5位
東京学芸大学附属小金井小学校	岡部 那由多	第8回日本バツハコンクール全国大会 小学校3・4年B部門 金賞およびベスト賞
東京学芸大学附属小金井小学校	荒川 桐真	第71回全日本学生音楽コンクール全国大会 バイオリン部門小学校の部 第3位
筑波大学附属駒場高等学校	小宮 晨一	第7回科学の甲子園全国大会 総合成績 第3位
市内在住(第四小学校教諭)	佐川 公太	WFDF2018世界アルティメットクラブチーム選手権大会 世界大会 第6位

教育委員の活動を紹介します

教育委員の平成30年9月から12月までの活動は下表の通りです。またその他に道徳授業地区公開講座、各種研修会、運動会等へ参加しています。

活動実績(平成30年9月～12月)

9月11日	第17回教育委員会定例会 学校訪問(第五小学校)
9月27日	第18回教育委員会定例会
10月11日	第19回教育委員会定例会
10月12日	東京都市町村教育委員会連合会 管外視察 研修会
10月25日	オリパラ教育学校訪問視察 (第十小学校) 学校訪問(立川第四中学校) 第20回教育委員会定例会
10月30日	東京都市町村教育委員会連合会 第4ブロック研修会
11月8日	第21回教育委員会定例会 第2回総合教育会議 平成30年度立川市立中学校PTA連 合会と教育委員会との懇談会
11月10日	立川第九中学校創立40周年 記念式典
11月17日	第七小学校創立60周年記念式典
11月21日	学校訪問(立川第一中学校)
11月22日	第22回教育委員会定例会
11月29日	学校訪問(松中小学校) 学校訪問(南砂小学校)
12月14日	第23回教育委員会定例会 第1回教育委員会研修会
12月27日	第24回教育委員会定例会

☎教育総務課・内線2465

新たに1名の方が教育委員に就任しました

立川市教育委員会では佐伯雅斗委員の任期満了(平成30年12月24日)に伴い、12月18日に開催された市議会12月定例会において同意を得て、下記のとおり新委員が任命されました。なお、新委員は公募により選任されました。

新委員 嶋田 敦子(しまだあつこ)
元立川市立中学校PTA 会長



これに伴い、教育委員会の構成は次のとおりとなりました。

職名	氏名	任期
教育長	小町 邦彦	自 平成28年4月1日 至 平成31年3月31日
教育長 職務代理	松野 登	自 平成27年12月25日 至 平成31年12月24日
委員	田中 健一	自 平成28年12月24日 至 平成32年12月23日
委員	伊藤 憲春	自 平成29年12月24日 至 平成33年12月23日
委員	嶋田 敦子	自 平成30年12月25日 至 平成34年12月24日

☎教育総務課・内線2465

立川市の歴史と文化財

38

立川駅の開設



「立川駅前千本桜」

今年、平成31(2019)年から130年前の明治22(1889)年4月11日に甲武鉄道の新宿～立川間が開通し、立川駅が開設されました。4ヶ月後の8月11日に、工事の遅れていた立川～八王子間が開通しました。甲武鉄道の「甲」は甲斐(山梨県)、「武」は武蔵の意で、東京と山梨(甲府)を、鉄道で結ぶことを最終目的としていました。

甲武鉄道の発端は、明治16年の玉川上水の堰堤を利用した新宿～羽村間の馬車鉄道計画でしたが、東京府の許可がおりませんでした。その後羽村から八王子に目的地を変え、明治19年11月には青梅街道、五日市街道沿いを走る新宿～八王子間の馬車鉄道が認可になりました。明治20年前後は、後に「第一次鉄道熱時代」と呼ばれ、数多くの鉄道計画が立てら

れました。それに刺激されたのか、馬車鉄道から機関車鉄道へ変更する願書を1ヶ月後の12月に提出しました。紆余曲折がありましたが、明治21年3月に新宿～八王子間の正式な認可があり、工事は6月から始まったのでした。測量はそれに先立つ、明治21年1月から始まっており、測量後に武蔵野台地を直線的に進むルートが正式に決定したと考えられます。

立川駅は松林や桑畑の中に設置されました。当時の立川村の中心地は、諏訪神社の南側でしたが、駅舎は南側ではなく、北側に造られる予定でした。当時は蒸気機関車で、機関車を動かすには大量の水が必要です。甲武鉄道は立川村に「水積六坪二合五勺」(約5.6cm四方の取水口)を求めましたが、反対する者がおり返事を引き延ばしていたところ、砂川村から水を供給するから、駅舎を北側にしようという要求があり、それを甲武鉄道が了承したため、駅舎は北側に造られたのでした。これは初代北多摩郡長で、現立川市域(立川村、砂川村)で唯一の甲武鉄道株主でもあった砂川村名家出身の砂川源五右衛門の力が大きかったとされています。

駅舎が北側に変更されたことを知った立川村は巻き返しに出ました。立川村の鈴木平九郎らが中心となって、水も駅舎用の敷地も提供するの、再度南側に駅舎の位置を変更するように甲武鉄道や、神奈川県(当時多摩地区は神奈川県)に働きかけたようです。しかしその願いはかなうことなく北側に駅舎が造られたのでした。

駅が設置されると、すぐに駅周辺には旅人や鉄道利用者を対象にした商店や旅館などができ、「街」として賑わうようになりました。駅周辺は明治30年には30軒、明治34年には80軒と建物が増えていき、「停車場」という地名が生まれたのです。

時期的には前後しますが、明治27年には青梅鉄道(現在の青梅線)が、昭和4年には南武鉄道(現在の南武線)が、昭和5年には五日市鉄道(現在の五日市線 立川～拝島間(現在の青梅線とは別路線)は廃止が、それぞれ立川駅に乗り入れ、立川は多摩の交通の要所として、発展していくことになるのです。

掲出の絵は明治35年頃の立川駅を描いたもので、市指定有形文化財「立川村十二景」の一枚です。正面に駅舎、右手には大きな桜の木が描かれています。桜の木は後に「玉桜」と呼ばれ、駅関係者や住民から親しまれたそうです。

☎歴史民俗資料館(生涯学習推進センター文化財係) ☎(525)0860

立川教育フォーラムを開催します！

～まちづくりは人づくり、人づくりは未来づくり、未来づくりは学校から！～

今年度も立川教育フォーラムを開催します。立川市の小中学校の取組や中学生による立川市・大町市姉妹都市中学生サミット等の報告を児童・生徒が自らステージで発表するほか、主体的・対話的で深い学びを

支える「つながり」について大阪大学大学院人間科学研究科教授 志水宏吉先生による特別講演など、立川市の教育の今と未来に関する内容が盛りだくさんです。ぜひ会場へお越しください。 〇指導課・内線2497



「立川教育フォーラム」とは？

立川市教育委員会では、平成16年度から立川市の教育の充実と推進を図るため、保護者、市民、教職員が一堂に会した場で、教育実践等を紹介する「立川教育フォーラム」を開催しており、今年度で15回目となります。よりよい学校教育により、よりよい社会をつくるために、私たちがすべきことは何か、本フォーラムを通じて、ともに考えましょう。

日時 平成31年2月16日(土)午後1時～4時20分(受付午後0時30分～)

会場 たましんRISURUホール(立川市市民会館)大ホール

テーマ 「主体的・対話的で深い学びを支える『つながり』について考える」

内容 1 児童・生徒による学習成果発表

- 職場体験参加協力事業者表彰
- 立川第二中学校生徒による職場体験の報告
- 生徒による立川市・大町市姉妹都市中学生サミットの報告
- 生徒による中学生平和学習 広島派遣事業の報告
- 児童・生徒による児童会・生徒会サミットの報告
- 児童による立川市立小学校科学教育センターの取組

2 特別講演

演題：「主体的・対話的で深い学びを支える『つながり』を生かした学校づくり」

講師：大阪大学大学院人間科学研究科教授 志水宏吉先生

講師プロフィール 志水宏吉先生



1959年兵庫県西宮市生まれ。現在、大阪大学大学院人間科学研究科教授。専攻は教育社会学・学校臨床学。著書に、『「つながり格差」が学力格差を生む』（亜紀書房）、『「つながり」を生かした学校づくり』（東洋館出版社）、「学校のポリテックス」（岩波書店）等多数。学力格差と子どもを取り巻く環境との関係についての講演等も行っている。

児童・生徒がプレゼンします！



ビブリオバトル交流戦を今年も開催します

中央図書館では、都立砂川高校との共催により、市内中・高校生がバトラーとなってビブリオバトルを開催しています。

ビブリオバトルとは、「本の紹介コミュニケーションゲーム」のことです。バトラーと呼ばれる発表者が、読んでおもしろいと思った本を紹介し合い、全員でディスカッションし、最後に『どの本が一番読みたくなったか』を投票して、チャンプ本を決める書評合戦です。平成26年度からは市内中学生も参戦し、観覧者も投票に参加できる楽しいイベントです。今回で6回目になります。今年は3月26日(火)午前10時から立川市中央図書館4階会議室で開催します。市内在学・在住の中学生・高校生の皆さん、参戦募集中です。

申込は2月16日(土)までに直接または電話で中央図書館☎(528)6800へ。



オープン子ども科学あそび隊

東京学芸大学教育学部理科教育学教室の学生を講師に年8回開催している「高松子ども科学あそび隊」。この事業を地域に公開し、11月24日に学校や地域団体等の協力の下、第二小学校の体育館で行いました。

当日は多数の小学生が参加し、「ホバークラフト作り」(摩擦)、「静電気を利用した実験」(静電気)を行い、科学の仕組みを学びました。

子どもたちは、身近な道具や材料を利用した実験で、静電気や摩擦という現象から、科学をより身近に感じました。

この経験から、未来のノーベル賞受賞者が誕生することを期待しています。

写真撮影・報告文は二小PTAが担当



〇高松学習館☎(527)0014

図書館におけるインターネット音楽配信サービスの開始について

〇中央図書館☎(528)6800

立川市図書館では、平成31年1月4日(金)より、インターネット音楽配信サービスを導入しました。

導入した音楽配信サービスはナクソス・ミュージック・ライブラリーというクラシックを中心としたサービスです。市内図書館で配布するIDとパスワードでログインすると、CD12万5千枚、190万曲以上のクラシック音源がPC、スマートフォン、タブレット等の再生機器でいつでも、どこでも聞くことができます。近年一般に浸透してきたストリーミング音楽配信サービスを是非ご体験ください。

ご自身のPC、スマートフォン、タブレット等でご利用頂けるほか、中央図書館3階情報検索コーナーで試聴できます。

●**利用方法** 図書館利用カードをお持ちになり、お近くの図書館の窓口にお越しください。ID・パスワードをお渡しいたします。このIDとパスワードでナクソス・ミュージック・ライブラリー・ホームページにログインしてご利用いただけます。IDとパスワードは初回ログインより14日間ご利用できます。

●**利用要件** 市内在住・在勤・在学の有効な図書館利用カードをお持ちの個人利用者(相互利用の方、その他登録、団体登録者はご利用できません)。

